

まちづくりの概要

町の各種計画により神保原駅北の賑わいや活力の創出、住環境の向上等を目指し、コンパクトで持続可能なまちづくりを推進するため、神保原停車場線・神保原駅北東通り線・大型商業施設跡地・駅機能の改善・駅前広場等の整備を中心に進めていく。

町の計画

これら上里町の各種計画に沿った形で「神保原駅北まちづくり基本計画」を策定し、駅北のまちづくりを推進していきます。

総合振興計画

国土強靱化計画

立地適正化計画

まち・ひと・しごと  
創生総合戦略

都市計画マスター  
プラン

神保原駅北まちづくり基本構想及び基本計画の検討

発起人会

①目的
神保原駅北口周辺地区の発展に向け賑わいがあり、安心安全に暮らせるまちづくり・駅前通りの活性化・道路交通環境の改善・神保原駅利用者の利便性の向上を目指す。

②検討事項
・駅北まちづくり推進の土台となるアンケート調査の実施について。  ・神保原駅北まちづくり基本構想の骨格の検討について。  ・まちづくり協議会設立に係る検討について。

③設置体制
メンバー
地元地権者4名
設置期間
令和2年9月30日～令和3年10月12日

神保原駅北まちづくり協議会

①目的
地域の活性化やコンパクトで持続可能なまちづくりを推進するため、神保原駅北まちづくり構想・計画を策定する。

②検討事項
神保原駅北まちづくり構想及びまちづくり基本計画の検討・策定について。

③設置体制
メンバー
・地元地権者4名 ・学識経験者2名 ・区長会2名 ・公募4名 ・関係団体3名 ・行政機関3名
設置期間
令和3年11月18日～令和5年2月27日

庁内検討委員会

①目的
上里町都市計画マスタープランに基づく町の将来像の実現と地域課題の解決を目指し、まちづくりを総合的かつ計画的で、円滑に推進する。本委員会では都市計画マスタープランの実現に向けたまちづくりの推進及びまちづくりに関する計画・調査・検討を行う。

②検討事項
神保原駅北まちづくり構想及びまちづくり基本計画の検討について。

③設置体制
メンバー
庁内関係課長14名
設置期間
令和3年9月30日～現在

検討経緯(概要)

年度	年月日	内容	備考
令和2年度	令和2年9月30日～	発起人会設立(全5回開催)	基本構想(案)、アンケート調査等検討
	令和3年3月18日～31日	駅北口周辺のまちづくりに関するアンケート調査実施	回答者3,000名中987名
令和3年度	9月30日～	庁内検討委員会設置(全6回開催)	基本構想(案)、基本計画(案)検討等検討
	10月12日	第5回発起人会(最終回)	基本構想(案)をまちづくり協議会へ引継ぎ
	11月18日～	まちづくり協議会設立(全6回開催)	基本構想(案)、基本計画(案)等検討
	令和4年2月1日～14日	意見募集	基本構想(案)について。意見提出者31名
	2月3日～5日	住民説明会	基本構想(案)について参加者41名
	3月8日	町議会(全員協議会)	基本構想の報告・策定
令和4年度	4月10日～5月29日	町民ワークショップ(全3回開催)	基本計画(案)検討 参加者延べ73名
	12月15日～令和5年1月13日	パブリックコメント	基本計画(案)等について意見提出者6名(10件)
	2月3日～4日	住民説明会	基本計画(案)等について参加者29名
	2月27日	第6回まちづくり協議会(最終回)	基本計画(案)検討
	3月20日	町議会(全員協議会)	基本計画の報告・策定

神保原駅前マーケット(ちいさな駅前を旅するマーケット)

概要:楽しみ、活力のある場所づくりに向けて、町と商工会の共催により駅北周辺の空き地などを活用したイベントを開催することで、賑わいの場を形成し、参加者が自然に交流できる機会を創出する。

第1回

開催日:令和4年11月13日(日)11時～16時  
開催場所:駅前通り  
出店数:29店舗(内、地元より7店舗参加)  
来場者数:1,200名(推計)

第2回

開催日:令和5年5月7日(日)10時～16時(雨天)  
開催場所:駅前通り・駅西通り  
出店数:41店舗(内、地元より9店舗参加)  
来場者数:1,200名(推計)  
※ウォークアブル空間の検討にあたり駅西通りを通行止めにし、社会実験として快適に歩ける歩行空間の調査を実施。結果として3.5m～4.0mの範囲であれば快適な歩行環境が維持できた。



### 神保原駅北まちづくり「駅前広場・神保原停車場線等整備」の検討について

駅前広場及び神保原停車場線等の整備に向け、ルートやウォカブル空間のデザイン等について本体制により検討していきます。

「ウォカブル空間」  
道路を車中心から“人中心”へ再構築し、沿道と路上の一体的な利用により多様な活動ができる居心地の良い場を創出することで、人々が憩い集うことができ歩きたくなる空間。

#### < 駅北の賑わいを考える会議 >

##### まちなか再生ワークショップ

町の素案に基づき、駅前広場や沿道のウォカブル空間のデザイン、活用方法、幅員構成の案等を検討しLocal会議との連携により賑わいの創出を検討する。

参加予定者：まちづくり基本計画やマーケットに関わった方々及び関係団体等

- ・町民WS参加者(R4開催) 3名
- ・児玉青年会議所 1名
- ・町内事業者 2名
- ・区長会副会長 4名

- ・上里町商工会 1名
- ・駅北マーケット出店者等 5名
- ・まちづくり協議会 7名
- ・公募者 5名
- ◆合計28名(11月現在)

#### < 上里町の独自諮問機関 >

##### 神保原駅北まちづくり協議会

駅前広場や道路、ウォカブル空間のデザイン等、町の方針に対し意見を述べる。

##### 上里町

まちなか再生ワークショップとLocal会議に町の各種構造令等を踏まえた素案を提案。本体制で検討した案についてまちづくり協議会へ意見を伺い、意見があった場合はそれを反映する。

調整

調整

3つの体制でまちづくりを検討

意見交換

##### 町議会

報告

#### < 地元地権者の会議 >

##### Local会議

道路のルートやウォカブル空間での地元としての協力体制について検討し、その結果をまちなか再生ワークショップに説明する。

参加予定者：地元住民等

- ・元まちづくり協議会委員(地元地権者) 3名
- ・神保原総括区長 1名
- ・まちづくり計画内区長(東町・二～五丁目正区長) 5名
- ・駅前通り沿道地権者 12名
- ◆合計21名(11月現在)

#### 検討スケジュール(予定)

	R5.11	12	1	2	3	4	5	6
まちづくり協議会	●		●					●
まちなか再生ワークショップ			●	●	●	●	●	
Local会議				●	●	●	●	
議会					●			●
まちづくりシンポジウム		●						

※検討状況に応じ、スケジュールが変更となる場合があります。

### ウォカブル空間と低未利用地を一体的に活用した空間配置計画の考え方のイメージ

